

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1歳児)

食べることが大好きな子ども達。特に、野菜たっぷりのお味噌汁は、毎回お鍋が空になるほど人気の献立です。2月の初めに行われた味噌づくりでは、本物の大豆を見たり、園内に広がる豆を煮る匂いに気づいたり、「みんなが食べるお味噌を作っているんだよ」と伝えたと給食の美味しさをより一層感じることができました。寒い季節ですが、体調不良で欠席する子はほとんど無く、“しっかり食べる事”の大事さを改めて感じました。

月齢差が大きい0,1歳児ですが、この時期「自分で靴を履いてみよう」「スプーンやフォークを使い自分で食べてみよう」など、それぞれのペースでやってみようとする姿が増えてきました。園の活動や行事にも関心を示し音楽の日には、園長先生の奏でるギターがスピーカーから聞こえてくると体を動かし、一緒に歌う姿があり、大好きな時間となっています。進級することを楽しみにしながら、ことり組の部屋に遊びに行き、少しずつ慣れ、スプリングコンサート当日は、ことり組の部屋から存分に音楽を楽しみました。お兄さんお姉さんになりたい気持ちがたくさん膨らんでいる1歳児です。



ことい組(2歳児)

スプリングコンサートで、歌うこと、聴くことをたっぷり楽しんだことり組の子どもたち。緊張しながらもステージに立って大きくなった姿をお家の人に見てもらうことができました。ホットタイムでは「〇〇がいい」「〇〇うたおう」とリクエストしたり、遊びの中でも気に入った歌を口ずさんだりする姿が多く見られるようになっていきます。

戸外では、友だちや保育者といっしょに、だるまさんがころんだやおにごっこ、かくれんぼなどの簡単なルールのある遊びにも興味を持ち楽しみ始めています。室内遊びでも、絵合わせや粘土などの遊びが展開され、順番を待つことや作った物を見せ合うなどしています。“みんなといっしょも楽しいね”を遊びや生活の中で感じています。

子どもたちは「もうすぐ、赤いバッジだよ!」「わたしも」「ぼくも」と口々に言い、進級を楽しみにしています。自信と喜びに満ちたお兄さんお姉さんの表情になってきましたね。あと1ヶ月、ことり組の毎日も元気いっぱい過ごしましょう!!



すみれ組(3歳児)

スプリングコンサートに向けて、「たんぽぽきょうだいどこへいく」のタンポポを作ってお部屋に春を先取りしたり、「南極にいこう」の『氷山のペンギン』や『オーロラ輝く空のしろくま』を作ったりと、「もっとこうしてみようよ!」の声のもと、子どもたちはコンサートに向けて気持ちを膨らましてきました。そして当日は、歌を心とからだいばいばいに楽しむことができました。コンサート後も楽器を作りステージで演奏したりと余韻を楽しみました。

2月の寒さにも負けず、天気の良い日は外でも思い切り遊び、初めての『縄跳び』や『中当て』にも挑戦し、イキイキとした顔がたくさん見られます。

ほし組の『歌』を目の前で見た子どもたちは、キラキラかっこいいほし組に目がくぎ付け!そして今、「ほし組さんが作っていたみたいなのピザを作りたい!」と子どもたち。ほし組からは「まずはケーキとか寒天で修行だね!」とアドバイス。さっそく絵本からケーキの作り方を調べ、『ふんわりスポンジケーキ』を作ってみました。「ふんわり膨らんだから大成功!」「次はココアを入れてみる?…」そんな言葉が子どもたちから出ています。みんなで話しながら「次はもっとこうしてみよう!」を広げていきたいと思えます。大きくなったからこんなことも出来るようになったねの嬉しい気持ちをみんなで共有しながら、ひつじ組に向けて期待をもって過ごしていきたいと思えます。



ひつじ組(4 歳児)

みんながひとつになったスプリングコンサート！一人ひとりが音楽を楽しみ、心も身体もはずませる日となりました。ひつじ 1 組が歌った『不思議な月夜の音楽会』では、登場する虫を凶鑑で調べて絵を描いたり、「楽器を持ってステージで演奏したい！」と空き箱や段ボールで製作をしたりと、歌の世界を存分に楽しみました。ひつじ 2 組は歌いたい歌がたくさんありましたが、進級してから歌った歌をみんなで振り返る中で、「夏に歌ったよね！」「カモメが飛んでるみたいで好きなんだよね～」と、夏の出来事を懐かしみ、『白いカモメの夏』を歌うことに決めました。折り紙で作った可愛いカモメが、みんなを見守っていましたね。

コンサートの余韻を楽しみながら、「またクッキングやりたい！」とクッキングに夢中な子どもたち。前回のスマイルスコーンクッキングを終えてから、「次はパン作ってみたい！」「強力粉で作れそうじゃない！？」と相談していました。今回は、強力粉とドライイーストを使って、2 回も発酵させて作る『本格パン』。コンサートを通して、みんなで相談しながら、同じ気持ちで取り組む「本当の楽しさ」をより実感したひつじ組。生地がふくらむ不思議や、焼きあがったときの嬉しさを仲間と共に感じながら、まだまだ！もっともっと！クッキングを楽しみたいと思っています。

ほし組さんの卒園が近づき、いよいよ自分たちがほし組になることを意識して過ごす日々。残りのひつじ組も、「みんなで楽しい！」を大切にしてもらえたらと願っています。



ほし組(5 歳児)

いよいよ、卒園に向けた毎日が始まりました。竜ヶ崎幼稚園では、“卒園”も子ども達と準備を進め、手作りの毎日です。

まずは、スプリングコンサートを終えて、21 日の日、園長から招待状が届きました。『ほし組デーに、ぜひおこしてください』『秘密の森の秘密の木から、夜中の 12 時に誰にも見つからないように葉っぱを取ると…美味しいクッキーとチョコレートに変身します』。そして 25 日の日、「園長、本当にこんな寒い夜中に、森まで行ってくれたのかな…？」など友達と会話し、朝から“ほし組デー”にワクワクです。教会に招待してもらって、“葉っぱクッキー”“葉っぱチョコレート”“スペシャルロイヤルミルクティー”をごちそうして貰いました。みんなで大きくなったことを分かち合っていて喜び、「小学生になっても、幼稚園や教会とずっと繋がっているからね」に、ホッとする子ども達でした。

卒園旅行では、グループ毎に「何の動物見る？」「どこでご飯食べる？」等たくさん話し合っていて、準備をしました。なのでもちろん、グループ毎にそれぞれ違ったドラマがあります。(その様子は、大掃除の時にスライドショーで写真を紹介しますね！)

卒園アルバムや卒園 CD の制作も続けながら、残りの幼稚園生活ももっと主体的に、友達と楽しんで竜ヶ崎幼稚園を満喫してほしいと願っています。



預かい保育(3・4・5 歳児)

ほし組は竹馬を頑張る仲間を応援したり、大縄やボールあそびを楽しんだり、仲間との時間を大切にしながら繋がりを深めているようです。

ひつじ組、すみれ組は進級する事を楽しみにしていてそれを意識して行動する様子も伺えます。

先日、ほし組卒園旅行でほし組がない園での生活の時のことです。

「今日はほし組がないので自分たちが頑張る」と遊びの広場の小石や小枝を拾ったり、園庭の草取りをしたりして一生懸命頑張ってくれました。すみれ組もいつものお花の水やりを忘れないで、みんなで頑張りました。

毎日の積み重ねが心や身体に根付いて一年経つと着実に成長している姿をみせてくれる子供達。次は、どのような姿をみせてくれるのか楽しみですね。